

児童発達支援事業所



2025. 4 月号

Eメール koroiba_mori@basil.ocn.ne.jp

ホームページ <https://minnanomori.jp/>

ご入園・ご進級おめでとうございます

暖かな春の陽気とともに、また新たな1年がスタートしました。ころころ伊場では新しいお友だちが6名加わり、毎日通園や併行通園の子、合わせて19名でスタートです。

進級にあたって、1つ大きな学年になったことへの喜びとともに、関わってくれる職員や環境が変わることへの不安な気持ちを見せる子もいるかと思います。新しい環境で頑張っている分、家に帰ってから甘えたい気持ちや疲れがいつも以上に見られるかもしれません。ご家庭では、子どもの話に耳を傾けたり、一緒に遊ぶ時間を設けたりして頂き、ホッと安心できる時間を作ってもらえたらと思います。ご家庭での様子の変化やころころ伊場での様子や頑張りを、送迎時や連絡ノートを使って共有させていただき、少しでも早く慣れて、安心できる日々を過ごしていけるようにしていけたらと思っています。

私たち職員は、たくさん遊ぶことや楽しい経験を一緒にしていき、子どもたちが困ったときには頼ってもらえるような温かい存在でありたいと思っています。新年度も保護者の皆様と一緒にお子さんの成長を見守り、喜び合っていけるよう、職員一同心を込めて療育をしていきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

～職員

一同～

・昨年度行った事業所評価表(アンケート)の結果をホームページに載せました。ありがとうございました。



✿たいようクラス✿

<手つなぎで深まるクラスの絆>

3月のたいようでは、進級を前にさらにクラスの友だちと仲良くなろう、という目標を掲げました。友だちと遊びたい思いはあるのに違う形で現れてしまったり、いつまでも「この子」と呼んで友だちの名前が出ず、関りを閉ざしてしまうような姿もあったからです。遊びのなかで友だちと関わって遊ぶ機会は作れないものか、と考えました。

子どもたちの好きな遊びの一つに“ふれあい遊び”があり、わらべ歌に合わせて体を動かしたり手遊びを楽しみます。主に大人と子どものスキンシップやコミュニケーションツールとして行われているのですが、子どもどうしでやってみることにしました。

みんな集まってー！と声をかけたあと、友だちと手をつないでね、と伝えました。近くにいた友だちを誘って手をつなぎ、すぐにペアができました。「手つなごう」と声をかけられた子はにっこり笑ってうれしそうです。「♪おらうちの～ どてかぼちゃ～♪」とわらべ歌を歌いだすと、それに合わせて繋いだ手をユラユラ揺らします。最後にギューしようと伝えると、子ども同士ハグをしてとても満足そうな表情でした。「次は違うお友だちと手をつないでください」と言うと、普段あまり関わりのなかった子から誘われて照れてしまう子がいましたが、クッション役で担任が入ることで安心し友だちと手をつなぐことができました。友だちと楽しく関わった経験を重ねることで、人と関わる意欲を育んでいきたいと思います。



☆ほし☆

<やりたい遊びを十分に楽しむ>

春は学年が上がるなどの環境の変化が近づいていたり、在籍園での行事があったりと気持ちたちが落ち着かずそわそわする様子が見られる子もいます。ころころ伊場では、子ども達の心の揺れ動きを気に掛けながら、活動内容を変更することもあります。また、自由遊びの時間を十分にとることで、好きな遊びをじっくり遊び込む経験が、気持ちの安定に繋がってくると感じています。

個々でやりたい遊びを楽しんだり、友だちが遊んでいるのを見て一緒にやりたくなり、遊びが広がったりと、会話も弾み、心も満たされていくのだと感じています。今後も子ども達の興味や気持ちに寄り添いながら日々をすごしていけたらと思います。

<出来るようになったよ！>

今までいろいろな所に散歩に出かけてきました。繰り返し出かけ、友だちが遊具に挑戦している様子をみてきたことで、今まで怖くてやらなかった遊具に挑戦してみようという気持ちに変わっている子が増えています。果敢に挑戦する姿に、職員や友だちが「すご～い！！」と褒めてくれ、更に自信に繋がり表情も生き生きとしています。色々な遊びを経験したり、友達がしていることに目を向けたりすることで、挑戦する気持ちが育ち、次に繋がるきっかけになっています。

